

悩み、将来の目標… 社長さんと「おしゃべり会」

県立諫早高・付属中



経営者らと将来の目標などを語り合う高校生
＝諫早市、諫早高・付属中

中学生が地元経営者らと対話する「おしゃべり会」

が、諫早市東小路町の県立諫早高・付属中(植松信行校長、1200人)であった。中学3年から高校2年までの46人が経営者ら18人と進路選択の悩みや目標などを語り合った。

同校のキャリア教育の一環。同市のNPO法人「Seamless(シームレス)」(上野辰一郎理事長)と協働し、昨年から希望者を募って実施。介護や福祉、建設関係などの経営者や大

学教員らがボランティアで話し相手を務めた。

7月29日に開催。11グループに分かれ、生徒たちはコミュニケーション力を高める工夫などを質問。社会福祉法人南高愛隣会の田島光浩理事長は「あいさつが大事だが、話し始めるまでが難しい」とした上で、「勤務医時代、ともに働く看護

師さんとのチームワークが大事だと思い、日頃から接する機会を増やした」と経験を明かした。介護美容セラピストの山口美佐恵さん

は「(仕事などで)困難なことがあっても『まっ、いいか』と落ち込まない」と助言した。

終了後、高校2年の吉田彩也子さん(16)は「社長さんたちは考え方がポジティブ。困難があっても前向きに考え、乗り越えていた、

高校1年の里見萌音さん(15)は「『人生とは幸せになるために生きること、楽しむことが一番いい』という格言をたくさんもらった」と話した。

(高比良由紀)